

完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付: 2021年3月31日

事業ID: 2019522320

事業名: えひめ海ごみ調査プロジェクト(CFB・海と日本2020)

団体名: えひめ海ごみ調査プロジェクト実行委員会

代表者名: 実行委員長 田中正利

TEL: 089-915-2380

事業完了日: 2021年3月31日



事業費総額	: 10,000,000円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	: 0円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	: 10,000,000円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	: 0円	(収支計算書の青のセルの値)

1. 事業内容

■ 事業内容1

(1) 助成契約書記載の事業内容(予定)

(1) 秋の海ごみゼロウィークキックオフイベントの開催
時期: 2020年9月12日(土)
場所: 松山市大街道
参加者: 2,000人
内容: 秋の海ごみゼロウィークキックオフイベント
東京会場とのZOOM中継
ごみ袋配布、啓発ブース展示



(2) 事業完了時の事業内容(実績)

(1) 秋の海ごみゼロウィークキックオフイベントの開催
時期: 2020年9月12日(土)
場所: 松山市大街道
参加者: 2,000人
内容: 秋の海ごみゼロウィークキックオフイベント
東京会場とのZOOM中継
ごみ袋配布、啓発ブース展示

(3) 成功したこととその要因

東京会場だけでなく、全国各地とのZOOM中継を無事実施し、ウィークの全国的な規模を周知することができた。県内最大の商店街を会場とすることで、広くPRすることができた。

(4) 失敗したこととその要因

特に無し

(5) 事業内容詳細

別添の事業報告書を参照

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

(2)松山市内商店街連携事業
時期:2020年9月~2021年3月
場所:県内商店街
内容:県内の商店街と連携し、海ごみ削減啓発に繋がる各種連携事業を実施。



(2)事業内容の実施(完了)状況

(2)松山市内商店街連携事業
時期:2020年9月~2021年3月
場所:大街道商店街
内容:海ごみ啓発クイズラリーを実施し、参加者に商店街で使用できる電子マネーを進呈。各種デジタルサイネージに、海ごみ啓発動画を上映。

(3)成功したこととその要因

商店街で使用できる電子マネーを進呈することで、商店街にとってもメリットある取り組みができた。

(4)失敗したこととその要因

コロナ禍により、予定していた共同での清掃活動が実施できず、連携期間も限定的となった。

(5)事業内容詳細

別添の事業報告書を参照

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

(3)テレビミニコーナー
時期:2020年10月~2021年3月
場所:県内各地取材
回数:8回
内容:県内での海ごみ啓発活動取材し、南海放送テレビで放送。



(2)事業内容の実施(完了)状況

(3)テレビミニコーナー
時期:2020年10月~2021年3月
場所:県内各地取材
回数:8回
内容:県内での海ごみ啓発活動取材し、南海放送テレビで放送。

(3)成功したこととその要因

様々な海ごみ削減活動取材することができ、広くPRできた。

(4)失敗したこととその要因

特に無し

(5)事業内容詳細

別添の事業報告書を参照

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(4) 県内学校への出前授業
時期:2020年10月～
場所:県内学校
内容:海ごみ削減の特別授業や、清掃活動を実施。



(2)事業内容の実施(完了)状況

(4) 県内学校への出前授業
時期:2020年10月～
場所:県内学校
内容:海ごみ削減の特別授業や、清掃活動を実施。

(3)成功したこととその要因

特別授業をきっかけに、海水を使用したオリジナルの塩作りにも繋がった。

(4)失敗したこととその要因

コロナ禍により、予定していた小学校での実施ができなかった。

(5)事業内容詳細

別添の事業報告書を参照

■事業内容5

(1)契約時の事業内容

(5) 瀬戸内オーシャンズX連携広報活動
時期:2020年9月～
内容:テレビラジオCM、デジタルサイネージ、交通広告



(2)事業内容の実施(完了)状況

(5) 瀬戸内オーシャンズX連携広報活動
時期:2020年9月～
内容:テレビラジオCM、デジタルサイネージ、交通広告

(3)成功したこととその要因

河川調査の様子など取材活動ができ、番組化して放送できた。

(4)失敗したこととその要因

特に無し

(5)事業内容詳細

別添の事業報告書を参照

■事業内容5

(1)契約時の事業内容

(6)企業連携
時期:2020年9月～
内容:県内企業、団体と連携して海ごみ啓発活動を推進する。



(2)事業内容の実施(完了)状況

(6)企業連携
時期:2020年9月～
内容:県内企業、団体と連携して海ごみ啓発活動を推進する。

(3)成功したこととその要因

伊予市や、ビーチスポーツ団体と連携した啓発イベントを実施できた。

(4)失敗したこととその要因

特に無し

(5)事業内容詳細

別添の事業報告書を参照

■事業内容5

(1)契約時の事業内容

(7)コラボ商品開発
時期:2020年9月～
内容:取り組みを紹介するコラボ商品を開発。



(2)事業内容の実施(完了)状況

(7)コラボ商品開発
時期:2020年9月～
内容:取り組みを紹介するコラボ商品を開発。

(3)成功したこととその要因

県内大手企業である伯方塩業の協力を取り付け、商品開発までに至ることができた。

(4)失敗したこととその要因

特に無し

(5)事業内容詳細

別添の事業報告書を参照

(1)助成契約書記載の目標

<p><数値目標></p> <p>1. 清掃活動参加人数 (1)通年:12,000人以上 (2)海ごみゼロウィーク期間:6,000人以上</p> <p>2. 企業と連携したプロダクト開発:2件以上</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none">・島しょ部の海ごみ学習イベントを期間中3回実施。・海ごみ分布図の作成と活動冊子の作成(1,000部)・スポGOMI甲子園大会の実施。
--

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	220	文字数チェック	OK
<p>コロナ禍により年度当初の目標値が達成できなくなり、方針転換があった。海岸清掃などについては自粛となったため、当初の目標値がなくなった。秋の海ごみゼロウィークキックオフ以降、瀬戸内オーシャンズXの広報活動など新たな実施目標の達成を目指してきた。企業等と連携したプロダクトは2つ開発できた。スポGOMI甲子園についても、全国大会はリモート参加となったが無事終了できた。テレビによる啓発動画放送はシリーズ化することで一定の成果があったと思われる。</p>			

3.事業実施によって得られた成果

秋の海ごみゼロウィークキックオフイベントを皮切りに、幅広く周知活動が展開できた。瀬戸内オーシャンズX連携もあり、愛媛県担当課との連携事業や、県独自の取り組みの取材などもすることができた。県内の大手企業との商品開発も進み、より一層の活動認知アップにつながった。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

コロナ禍で海岸清掃活動など制限が掛かる中での活動について、課題が残った。啓発啓蒙活動に主眼を置きつつ、オンラインでの配信や映像作成などできるところから取り組んでいきたい。

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

- ・海ごみ学習会各種資料
- ・海ごみ分布図
- ・企業開発プロダクト

(2)事業完了時の成果物名称

- ・海ごみ啓発動画8本
- ・企業開発プロダクト
- ・えひめ海ごみ調査プロジェクト事業報告書



(3)未作成となった要因

コロナ禍による事業内容変更のため。

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

<https://fields.canpan.info/report/detail/25296>